

# 「ハラスメント」相談員の心得 冊子に



パワハラ、セクハラなど、職場の人権問題に関するコンサルティング会社「アトリエエム」（大阪市）が、冊子「ハラスメント 相談員の心得」＝写真＝を作成した。

研修を通して企業や団体の担当者から寄せられた「相談者の話を聞いているとつらくなる」「（ハラスメントの）行為者への聞き取りが難しい」といった悩みを基に構成した。

「相談者に共感しても同調はしない」のが原則。「神経質すぎる」「うのくら

い

は当たり前」といった言葉が、相手をさらに傷つける「セカンドハラスメント」となる恐れがあることも指摘する。上司ら行為者への対応は「毅然とした態度で」「弁明の機会を」などのポイントを示した。

代表の三木啓子さんは「相談員の多くは兼務で、多忙なか対応に困っている。解決に導くために冊子を役立てて」と話している。B6判64頁、500円（税・送料別）。